

倉敷市所蔵中村家文書

文書番号	標題	年代	数量	内容	備考
1	天保十一年庚子十二月 登坂日記 中村磯右衛門	天保11年12月	1冊	年貢米運搬につき	
2	正月ヨリ天保十己亥歳 中村磯右衛門	天保10年	1冊	中村磯右衛門の役場日記	
3	文久三年壬戌十月 御代替二付村々御免地并明細書上 二子村控	文久2年10月	1冊	代替わりにつき村内の御免地吟 味を仰せ付けられたため御免地 の書上の控	
4	嘉永七甲寅年割帳	嘉永7年	1冊	村入用	
5	万延二年辛酉正月 廻状留帳	万延2年正月	1冊	御触書などの写し	
6	天保六年乙未三月 備中国都宇郡二子村人別宗門名歳 御改帳	天保6年3月	1冊		
7	地図帳 二子村	未詳	1冊	二子村の字ごとの地割	
8	万延元年庚申十一月 御両領御和融再議定書	万延元年11月	1冊	帯江領と早島領の争論和融に つき取り決めの書上	
9	万延元年庚申十一月 御両領御和融再議定書	万延元年11月	1冊	帯江領と早島領の争論和融に つき取り決めの書上	
10	天保三壬辰歳 中田分之内山田大水書抜帳 庄屋磯右衛 門	天保3年	1冊		
11	天明五年乙巳三月日 畔之内分之帳田方五冊之内三	天明5年3月	1冊		SILティッシュで包む
12	文政十一戊子年九月 畑屋敷反別帳 貳 都宇郡二子村 庄屋預り 文左衛門 磯右衛門	文政11年9月	1冊		
13	天保三壬辰年 中田方之帳田方五冊之内壹 九田飛地有 庄屋磯右衛門	天保3年	1冊		
14	天保三壬辰年 無畔分之帳田方五冊之内四 庄屋磯右衛 門	天保3年	1冊		
15	天保三壬辰年 稗田分之帳田方五冊内 庄屋磯右衛門	天保3年	1冊		
16	天保三壬辰年 畔之内分之帳面田方五冊之内三 庄屋磯 右衛門	天保3年	1冊		
17	天保三壬辰歳 苗代分之帳田方五冊之内貳 庄屋磯右衛 門	天保3年	1冊		
18	天明五年乙巳三月日 苗代分之帳田方五冊之内二	天明5年3月	1冊		

倉敷市所蔵中村家文書

19	文政二己卯三月吉日 田畑畝高書抜覚帳 中村磯右衛門	文政2年3月吉日	1冊		
20	天保九歳戊戌八月日 御借財口々書分帳 中村磯右衛門控	天保9年8月	1冊		
21	明治九年四月 宗各地償租仕出元帳 二子村	明治9年4月	1冊		
22	天保九年戊戌三月日 御巡見御通行二付道直役帳 二子村	天保9年3月	1冊		
23	元治元年十一月 御年貢算用帳上之分 庄屋修平 後見陶浪坂太夫	元治元年11月	1冊		
24	文久四年甲子二月 難渋人拝借書上帳	文久4年2月	1冊		
25	弘化五年戊申二月 先納銀取立帳	弘化5年2月	1冊		
26	元治元年甲子十一月 御年貢算用帳下之分 庄屋修平 後見陶浪坂太夫	元治元年11月	1冊		
27	己酉年高附	己酉年	1冊		
28	安政三年丙辰八月 早魃二付稗田夏もの綿痛畝高書上帳 二子村扣	安政3年8月	1冊		
29	安政六年己未九月ヨリ 御蔵入俵数留帳	安政6年9月～	1冊		
30	慶応三年丁卯十一月 御年貢算用帳下之分 庄屋信太郎	慶応3年11月	1冊		
31	嘉永六年癸丑十二月 性徳院壱万人講銀取立帳 二子村	嘉永6年12月	1冊		
32	明治参拾八年分 田畑宅地小作米勘定帳 中村偕三郎	明治38年	1冊		
33	[諸書類]		1括り		33-1～3紐一括り SILティッシュで包む
33-1	御室御所献上銀割合	未詳	1冊		SILティッシュで括る 綴り紐なし
33-2	明治九年十一月 早損地反別地価取調帳 都宇郡二子村	明治9年11月	1冊		
33-3	[米出納帳]	未詳	1冊		
34	巳年田方稲作田見合付帳 扣	明治2年9月	1冊		SILティッシュで括る 綴り紐なし

倉敷市所蔵中村家文書

35	慶応二年丙寅十一月 御年貢算用帳土作之分 庄屋修平 庄屋後見陶浪坂太夫	慶応2年11月	1冊		
36	万延元年庚申十二月 米銀出入座帳 莊屋所	万延元年12月	1冊		
37	畑分取調	未詳	1冊		
38	嘉永六年癸丑九月 稲毛早損畝高書上帳 二子村扣	嘉永6年9月	1冊		(朱書)「早魃二付天水井地照り山田分痛畝 高書上帳」
39	慶応元年乙丑十一月 御扇子料名前書上 二子村	慶応元年11月	1冊		
40	安政七年庚申正月ヨリ 村用人足銀方留帳	安政7年正月～	1冊		
41	文久四年正月 廻状留帳	文久4年正月	1冊		
42	[畝高帳]	未詳	1冊	苗代分	
43	[御年貢算用帳]	未詳	1冊		
44	天保七年丙申正月吉日 台所諸入用覚帳	天保7年正月吉日	1冊		
45	[畝高帳]	未詳	1冊		
46	天保四癸巳十一月 御年貢算用帳下分 庄屋磯右衛門	天保4年11月	1冊		
47	丁亥九月 佐次郎浅右衛門疵請卯助方へ寝込一件 二子 村	丁亥年9月	1冊		
48	嘉永四辛亥年割帳	嘉永4年	1冊		
49	天保十一年庚子三月 下庄一件諸入用帳 二子村	天保11年3月	1冊		
50	明治四年未十二月 仕割帳 二子村	明治4年12月	1冊		
51	覚	巳年7月	1冊	戸田屋喜三郎→二子村庄屋 つけ金の請求	覚7丁同封 SILティッシュで括る
52	若殿様江御家督依之御酒肴被下置村方一同江頂戴為致 諸入用記	未詳	1冊		
53	天保四癸巳十一月 御年貢算用帳上分 庄屋磯右衛門	天保4年11月	1冊		
54	嘉永六年癸丑八月 岩部奥 池之奥 流レ池底堀井石垣 原付御普請取積書上帳 二子村扣	嘉永6年8月	1冊		
55	嘉永六癸丑年 早稲米割付帳 二子村	嘉永6年	1冊		
56	天保六年米出入帳 庄屋処	天保6年	1冊		
57	文政四辛巳年村割賦帳 二子村	文政4年	1冊		
58	文政五壬午年村割賦帳 二子村	文政5年	1冊		

倉敷市所蔵中村家文書

59	嘉永六年癸丑七月 岩部奥 池之奥 流 八之敷四ヶ所池懸り畝高書上 二子村扣	嘉永6年7月	1冊		
60	弘化二年乙巳十二月 御年貢納覚帳下之分 庄屋健治 同後見市太夫	弘化2年12月	1冊		
61	嘉永元歳申十二月ヨリ 安政六年未十二月迄帳面江出式割八ヶ年賦先納銀算用帳 但二帳之内 委細事者古帳ヲ見るべし	嘉永元年12月～安政6年12月	1冊		
62	万延元年庚申十一月 御年貢算用帳下之分 庄屋修平 庄屋後見長瀬市太夫	万延元年11月	1冊		
63	天保十三壬寅年 御年貢納覚帳下之分 庄屋健次	天保13年	1冊		
64	安政六年己未十月 御年貢算用帳出作之分 庄屋修平 庄屋後見長瀬市太夫	安政6年10月	1冊		
65	二子上東下庄明治廿九年預ヶ米取立帳 本中村	明治29年	1冊		
66	天保十一年庚子十一月 御年貢算用帳下分 庄屋中村磯右衛門	天保11年11月	1冊		
67	万延貳年辛酉二月 御上 方直下ヶ米被下売附 莊屋処	万延2年2月	1冊		
68	[山地村巡見についてカ]	未詳	1冊		
69	文久元年辛酉十月 御年貢算用帳下之分 庄屋修平 陶浪坂太夫	文久元年10月	1冊		
70	慶応三年丁卯十一月 御年貢算用帳出作之分 庄屋信太郎	慶応3年11月	1冊		
71	文化十三丙子年閏八月 文政元寅年用之 同十四丁丑年用之 無畝上分畝高取米名寄帳 都宇郡二子村庄屋後見 亀山栄三郎 庄屋甚右衛門	文化13年閏8月～文政14年	1冊		
72	文化十三年丙子閏八月 文政元寅年用之 同十四丁丑年用之 稗田分畝高取米名寄帳 文政九年丙戌大名寄帳引合 都宇郡二子村庄屋後見 亀山栄三郎 庄屋甚右衛門	文化13年閏8月～文政14年	1冊		綴り紐破損 SILティッシュで包む
73	文政四辛巳年九月 苗代分畝高取米名寄帳 都宇郡二子村 莊屋甚右衛門	文政4年9月	1冊		
74	文化二年乙丑閏八月 中田分畝高取米名寄帳 都宇郡二子村莊屋七左衛門	文化2年閏8月	1冊		

倉敷市所蔵中村家文書

75	寛政七乙卯年十月 菅生八丙辰年用之 無畝上分畝高取米名寄帳 都宇郡二子村莊屋七左衛門	寛政7年10月～8年	1冊		
76	文化十三年丙子閏八月 文政元寅年用之 同十四丁丑年用之 無畝下分畝高取米名寄帳 都宇郡二子村庄屋後見亀山栄三郎 庄屋甚右衛門	文化13年閏8月～文政14年	1冊		
77	天明七年未九月 無畝下分畝高取米名寄帳 都宇郡二子村後見与次右衛門 六右衛門	天明7年9月	1冊		
78	文政四辛巳年九月 畔之内分畝高取米名寄帳 文政九年丙戌大名寄帳引合 都宇郡二子村莊屋甚右衛門	文政4年9月	1冊		
79	文化十三年丙子閏八月 文政元寅年用之 同十四丁丑年用之 無畝下之分畝高取米名寄帳 都宇郡二子村庄屋後見亀山栄三郎 庄屋甚右衛門	文化13年閏8月～文政14年	1冊		
80	文政十丁亥年九月 無畔上分畝高取米名寄帳 後見庄屋文左衛門 同所磯右衛門	文政10年9月	1冊		
81	[入用銀郡中割賦帳]	文政3年カ	1冊		
82	文政十丁亥年九月 無畔下々分畝高取米名寄帳 後見庄屋文左衛門 同所磯右衛門	文政10年9月	1冊		
83	[御用留]	天保8年10月6日	1冊		(裏書)「莊屋磯右衛門」表紙なし
84	天保七丙申十一月 御年貢算用帳出作分 庄屋磯右衛門	天保7年11月	1冊		
85	安政三年丙辰八月 旱魃二付畑痛畝高書上帳 帳二ツ内下分 二子村扣	安政3年8月	1冊		
86	文政十一己丑年十一月 御年貢算用帳下之分 二子村	文政11年11月	1冊		
87	天保二辛卯十一月 御年貢算用帳下之分 二子村	天保2年11月	1冊		
88	天保十一年庚子三月 下庄村百姓永蔵於当村疵付候二付倉敷帯江御役人様御出張入用帳 二子村	天保11年3月	1冊		
89	嘉永五年壬子十二月 御年貢算用帳上之分 庄屋中村健治	嘉永5年12月	1冊		
90	天保十貳年辛丑正月吉辰日 台所諸入用日記留帳	天保12年正月吉辰日	1冊		
91	嘉永六年癸丑八月 岩部奥 池之奥 流レ池底堀并石垣原付御普請取積書上帳 二子村扣	嘉永6年8月	1冊		

倉敷市所蔵中村家文書

92	常右衛門家財費払代割符帳	未詳	1冊		
93	明治四拾貳年分 田畑宅地小作米取立帳 中村豊	明治42年分	1冊		
94	明治四十年正月吉日 台所日記	明治40年正月吉日	1冊		(裏書)「本中村」
95	十年第一期取立庭帳 但二期兼 十六区	明治10年カ	1冊		
96	板倉人足人数	未詳	1冊		
97	嘉永貳年己酉十二月 夕印廿八番カ三拾貳番迄五顔 拾六会目差引算用 二子村	嘉永2年12月	1冊		
98	享保九甲辰年十月日 二子村当辰ノ早損引帳	享保9年10月	1冊		
99	乍恐以書付奉歎願候 都宇郡二子村	未詳	1冊		
100	文久二歳壬戌十月 御扇子料取集帳 荘屋所	文久2年10月	1冊		
101	頼母志講落札銀証文控	辛亥2月	1冊		
102	万人固講利銀	未詳	1冊		
103	天保六歳乙未三月 万固講口数記帳上り帳之控 二子村	天保6年3月	1冊		
104	[名前ほか書上]	未詳	1冊		
105	嘉永四年辛亥二月 田方預り手形帳扣 二子村中村健治	嘉永4年2月	1冊		
106	明治十四年 田畑小作預け米取立帳 中村信太郎	明治14年	1冊		
107	[諸書類]		1綴		107-1~2一綴
107-1	十二年度地方税徴集庭帳 二子村	明治12年度	1冊		(朱書)「口百廿六号」
107-2	明治十三年分地租第一期仕出し仮帳	明治13年分	1冊		
108	[金銭・名前書上]	未詳	1冊		
109	[金銭・名前書上]	未詳	1冊		
110	嘉永元戊申十二月 夕貳拾六番 夕貳拾七番拾五会目振鬮得万算用	嘉永元年12月	1冊		
111	文久二歳壬戌正月 田畑預ヶ米取立帳	文久2年正月	1冊		(裏書)「前田」
112	二子村畑綿大豆畝高書上扣帳	天保10年8月カ	1冊		
113	安政五戊午年割帳	安政5年	1冊		
114	天保五歳甲午八月 直下米書上帳控 庄屋磯右衛門	天保5年8月	1冊		
115	天保四年割帳	天保4年	1冊		
116	天保三壬辰十一月 御年貢算用帳上分 荘屋磯右衛門	天保3年11月	1冊		SILティッシュで括る

倉敷市所蔵中村家文書

117	嘉永元年戊申口月 御年貢算用帳出作之分 庄屋市太夫 〃 健治	嘉永元年口月	1冊		SILティッシュで括る
118	明治三年十一月 午御租税米出作之分算用帳 都宇郡二 子村庄屋中村信太郎	明治3年11月	1冊		SILティッシュで括る
119	万延二年辛酉正月 米銀出入帳	万延2年3月正月	1冊		(裏書)「本中村氏」
120	明治四拾年分 田畑宅地小作米取立勘定帳 中村豊	明治40年分	1冊		
121	天保四歳癸巳正月吉日 田畑預米綿納帳	天保4年正月吉日	1冊		(裏書)「万恵多磯右衛門」
122	慶応元年乙丑十一月 御年貢算用帳下之分 庄屋修平 庄屋後見陶浪坂太夫	慶応元年11月	1冊		
123	文政十一戊子年十一月 御年貢算用帳中之分 二子村	文政11年11月	1冊		
124	天保二辛卯十一月 御年貢算用帳出作分 二子村	天保2年11月	1冊		
125	天保十四癸卯年 御年貢納覚帳下之分 庄屋健治	天保14年	1冊		
126	万延貳年辛酉正月 二子村難渋人書上 扣	万延2年正月	1冊		
127	万延二年辛酉三月 御拝借願出候者名前業躰書上 二子 村扣	万延2年3月	1冊		
128	天保三壬辰十一月 御年貢算用帳出作 庄屋磯右衛門	天保3年11月	1冊		
129	嘉永四年辛亥二月 田方預り手形帳 二子村中村健治	嘉永4年2月	1冊		
130	天保十三寅年割帳	天保13年	1冊		
131	安政五戊午十月 御年貢算用帳下之分 庄屋修平 同後 見長瀬市太夫	安政5年10月	1冊		
132	明治六年十二月 酉御租税算用帳 出作分 都宇郡二子 村庄屋坪井紋次郎 副戸長小田良平	明治6年12月	1冊		
133	文久二年壬戌十月 殿様御儀御隠居若殿様江御家督被 為蒙仰依之御扇子料献金名前書 庄屋修平扣	文久2年10月	1冊		
134	天保七歳丙申十一月 御年米銀算用帳 磯右衛門	天保7年11月	1冊		
135	天保五年甲午十一月日 三田松嶋万固講口数控帳	天保5年11月	1冊		
136	安政二丁卯年割帳	安政2年	1冊		
137	申十一月晦日万講利銀納	申年11月晦日	1冊		
138	弘化五年戊申割帳	弘化5年	1冊		
139	万延元年庚申八月 御年貢等蔵入俵数留帳	万延元年8月	1冊		(裏書)「二子村」

倉敷市所蔵中村家文書

140	安政七年庚申二月 御宮御普請中所々江使人足留帳	安政7年2月	1冊		(裏書)「二子村」
141	安政七年庚申二月ヨリ 御宮本社御再建二附御普請中金銀出入帳 莊次郎	安政7年2月	1冊		
142	万延元歳申極月 御宮御本社御再建二附諸入用勘定帳 庄屋修平	万延元年12月	1冊		
143	嘉永六年癸丑二月 三田村徳左衛門打擲逢引合一件諸入用帳	嘉永6年2月	1冊		
144	明治十年丑一月改 給米集控	明治10年1月	1冊		(朱書)「百八十四号」(裏書)「都宇郡二子村山○ 岩見丹造」
145	御借財御片付御仕法二付御下金不相成而者取扱難洪帳 写	未詳	1冊		
146	四月晦日 御下金二可相成品改帳 写	未詳	1冊		
147	文久二歳壬戌十一月 御年貢算用帳上之分 莊屋修平 同後見陶浪坂太夫	文久2年11月	1冊		
148	文政十二巳丑年村割賦帳 二子村	文政12年	1冊		虫損
149	御巡見様御通筋其外国々御泊り御定間書延享三寅年寛政年中間書天保九戊戌歳御触書御名前国々御割	延享3~天保9年	1冊		
150	明治二年己巳十一月 御租税算用帳 知事伊勢新左衛門様 莊屋信太郎	明治2年11月	1冊		
151	安政四年乙巳十一月 郡中摸合講得番請取帳	安政4年11月	1冊		
152	天保五申午仕割帳	天保5年	1冊		
153	弘化四年丁未十二月 御年貢納覚帳出作之分 庄屋市太夫 // 健治	弘化4年12月	1冊		
154	万延元庚申年割帳	万延元年	1冊		
155	天保十一年庚子十一月 御年貢算用帳出作分 庄屋中村磯右衛門	天保11年11月	1冊		
156	天保五甲午年十一月 御年貢算用帳出作 庄屋磯右衛門	天保5年11月	1冊		
157	万延元庚申極月 氏宮御本社御建替御入用割賦取立帳	万延元年12	1冊		

倉敷市所蔵中村家文書

158	天保八丁酉歳十一月 御年貢算用帳上分 庄屋中村磯右衛門	天保8年11月	1冊		
159	天保十二年辛丑年正月吉日 壬寅用之諸〇留も在之 直使人足銀方取替帳 当時請持庄屋	天保12年正月吉日	1冊		
160	明治四拾三年二月ヨリ 台所日記 前田	明治43年2月～	1冊		
161	宅地	未詳	1冊	等級別収穫・租税書上	
162	田方	未詳	1冊	等級別反別・収穫・租税ほか書上	
163	慶応三年丁卯正月銀割帖	慶応3年正月	1冊		
164	嘉永六年癸巳七月 東西荒神宮両社共大破二付再建諸入用 中村健治	嘉永6年7月	1冊		
165	辰年田方稲作内見合付帳 扣	辰年	1冊		
166	有城村孫左衛門組持地	12月17日	1纏め		丁はずれカ SILティッシュで括る
167	明治九年分 村費明口日計簿 都宇郡二子村	明治9年分	1冊		(朱書)「三拾号 検査」
168	文久元年酉季秋ヨリ 御年貢御蔵入俵数留帳 二子邨	文久元年～	1冊		
169	万延元庚庚申十月 二子村難渋人書上帳	万延元庚10月	1冊		
170	安政七年庚申正月ヨリ 米銀出入帳	安政7年正月～	1冊		
171	文久二歳壬戌八月 御歳貢御蔵入俵数留帳	文久2年8月	1冊		(裏書)「二子村」 綴り紐破損 SILティッシュで括る
172	文久三年癸亥正月 廻状留帳	文久3年正月	1冊		
173	文久元年辛酉十二月 米銀出入座帳 庄屋処	文久元年12月	1冊		
174	[屋敷面積書上]	未詳	1冊		
175	天保五歳甲午十一月 御年貢米銀勘定控帳 庄屋磯右衛門	天保5年11月	1冊		
176	万延元年庚申十二月 御拝借願出候者名前書上帳 二子村	万延元年12月	1冊		
177	明治三年十二月 当午臨時小入用割賦帳 都宇郡二子村	明治3年12月	1冊		
178	元治二年乙丑正月 廻状留帳	元治2年正月	1冊		
179	明治十二年澤所組諸費課金差引帳	明治12年	1冊		

倉敷市所蔵中村家文書

180	[預り米書上]	未詳	1冊		
181	安政六年己未正月ヨリ 村方取引留帳	安政6年正月～	1冊		
182	慶応元年乙丑十一月 御年貢算用帳出作之分 庄屋修平 庄屋後見陶浪坂太夫	慶応元年11月	1冊		
183	天保七丙申十一月 御年貢算用帳上之分 庄屋磯右衛門	天保7年11月	1冊		
184	文政八年乙酉十一月 沢所割賦村々立来り銀高覚 二子村預り庄屋孫三郎	文政8年11月	1冊		
185	嘉永四年辛亥十二月 御年貢算用帳上之分 庄屋中村健治	嘉永4年12月	1冊		
186	万延元年庚申十月 御歳貢算用帳出作之分 庄屋修平 庄屋後見長瀬市太夫	万延元年10月	1冊		
187	文政十一戊子ノ年十一月 御年貢算用帳下之分 二子村	文政11年11月	1冊		
188	[金銭出入帳]	未詳	1冊		
189	明治二年己巳正月 御年貢内勘并所々差引帳 荘屋所	明治2年正月	1冊		
190	[人別小作米書上]	未詳	1冊		SILティッシュで括る
191	寛延四未年 備中窪屋郡都宇郡之内村々明細帳 二子村	寛延4年	1冊		
192	明治元年戊辰之分 同二年正月十二日ヨリ 米銀出入座帳 庄屋処	明治2年正月12日～	1冊		
193	安政四年丁巳二月 八之敷池石垣原付御普請凡積書上帳 二子村	安政4年2月	1冊		
194	山年貢精算	未詳	1冊		
195	江戸表江差出ス書状之控	未詳	1纏め		丁はずれカ SILティッシュで括る
196	御当家之系	未詳	1冊		虫損
197	乍恐目安御訴訟奉申上候	未詳	1通	酒津村外59ヶ村総代→奉行所	下書 SILティッシュで括る
198	天保十二丑年割帳	天保12年	1冊		
199	天保十年己亥十一月二日ヨリ 大坂滞留中日記 中村磯右衛門扣	天保10年11月2日～	1冊		
200	天保三年壬辰仕割帳	天保3年	1冊		

倉敷市所蔵中村家文書

201	天保九年戊戌八月十五日 戸川播磨守様御通行二付矢掛駅歎出之日記	天保9年8月15日	1冊		
202	[諸書類]		1袋		202-1~3一袋 (袋裏書)「大庄屋磯右衛門書類」
202-1	[中村氏宛平福正覚寺僧・女性書状一括]		1包(4通)		202-1-1~202-1-4包紙入り一括。包紙上書「備中二子村中村磯右衛門様 要用御答 播州平福正光寺」「口月廿八日認め返書七月十八日春吉江為持差上ル 多謝」。内側の文書を別の包紙でくるむ。別の包紙上書「備中都宇郡二子村中村磯右衛門様 貴口 平福[]寺」「六月廿日差出ス 播州佐用郡」。
202-1-1	[中村磯右衛門宛 正覚寺貫幢書状]	年未詳6月29日	1通	正覚寺貫幢→中邑磯右衛門 佐一郎からの詳細な書状に、江戸御役人在勤のこともあるので少しも早く盆前には成就するよう引合せてほしいとあったが、先方は繁用の仁ゆえ手引も致しかねており、寺院は盆前は多用なので盆の後まで延引になることを用捨してほしいと返答したものの。	
202-1-2	[中村様宛 西山内書状]	年未詳9月12日	1通	西山内→中村 大坂より様子を報せてほしい、市左衛門のことでお世話になるがよろしく頼む、早く帰ってきてほしいと伝えたものの。	仮名書きの消息。端裏上書「なかむら様 西山内」。
202-1-3	[中村磯右衛門宛 正覚寺暢誉書状]	年未詳6月7日	1通	正覚寺暢誉→中村磯右衛門 春以来御示談のあった銀談につき、銀座へ出かけて談合のういで帰寺したが、先方から不調の連絡が入って力を落とし、再度掛け合ったがうまくいかない、そのうち吉兆の報せがあればこちらから御通達申し上げるので承知してしてほしい、と伝えたものの。	包紙あり。上書「備中帯江大庄屋中村磯右衛門様 貴下貴■ 平福正覚寺」「麩茶一袋添 自播州」。

202-1-4	[宛名未詳 某書状]	年月日未詳	1通	昨日市左衛門が申し上げたことが気に障ったかもしれないが、元平をお召し連れになってそろそろお出でになられれば、この上なくありがたい、私も心がかりなく今夕寝られるので助けてほしい、今日お出でくだされば山ほどありがたい、気に障ったことも勘弁してほしい、と伝えたもの。	仮名書きの消息。冒頭部分欠損、残存部分も5つに分裂している。
202-2	天保十一年 諸道具着物買覚帳 中村磯右衛門〇	天保11年	1冊		
202-3	丑之春 御借財口々掛合書抜覚 中村磯右衛門〇	丑年	1冊		
203	明治十年十二月十三日 議員選挙開札簿 二子村	明治10年12月13日	1冊		(朱書)「百三拾五号」
204	二子村溝符谷川符池符砂入符帳	未詳	1冊		
205	備中国郡村々高附	正徳4年	1冊		(裏書)「二子村磯右衛門」
206	天保十己亥年 銀子借り入并御借財済方証文控 中村磯右衛門扣	天保10年	1冊		
207	嘉永貳年己酉三月 備中国都宇郡二子村人別宗門名前御改帳	嘉永2年3月	1冊		虫損
208	天保九年戊戌十二月願書之写	天保9年12月	1冊	御借財引合懸亀島村年寄光蔵外6名→癸巳常右衛門・東円助	
209	天保九年戊戌九月 大坂旅宿二而写 米引辻積り書 中村磯右衛門控	天保9年9月	1冊		
210	天保九年戊戌閏四月二日ヨリ同廿六年[] 御銀札一条并御借財向引合日記 中村磯右衛門控	天保9年閏4月2日～26年	1冊		虫損
211	天保十年己亥五月 江戸御借財御改革帳面并有栖川御殿拝借書類入 覚 亥六月御利米二而御借上帳面入 中村磯右衛門〇〇	天保10年5月カ	1冊		袋入り
212	播州平福駅正覚寺様	未詳	1纏め	生野入用覚ほか	SILティッシュで括る
213	[仕法書]	天保10年5月カ	1冊	借用銀札融通方引請など	
214	天保十二年辛丑正月 播州平福正覚寺銀談諸入用書上帳并江戸大坂諸勘定帳一冊二致在之 控	天保12年正月	1冊		
215	仕法書并日記 中村磯右衛門	天保10年4月	1冊	銀札米融通の儀ほか	
216	仕法書	未詳	1冊	掛銀・借入銀についてほか	

倉敷市所蔵中村家文書

217	文政十二己丑正月 八ヶ郷御料御私領用水取込堤築直御入用并石樋戸板御仕替入用共下積共	文政12年正月	1冊		
218	[登坂日記]	未詳	1纏め		虫損 SILティッシュで包む
219	嘉永六年癸巳六月 東西荒神社大破二相成立替二付記録 中村健治	嘉永6年6月	1冊		
220	仕法書	未詳	1冊	借用銀札融通方引請など	
221	天保九年戊戌御物成	天保9年	1冊		
222	文政七甲申閏八月廿二日 登坂日記	文政7年閏8月22日	1冊		
223	安政四巳年五月 備中山南 子位庄村御料領立会水樋入用帳 備前樋方	安政4年5月	1冊		
224	嘉永六年癸丑二月十六日夜於松島三田村徳左衛門江疵付及打擲候一件当村治左衛門仲蔵引合中始末留	嘉永6年2月16日	1冊		
225	文久元歳酉六月 二子村音二郎銀札一件手続書	文久元年6月	1冊		
226	嘉永六年癸丑八月 旱損所御見分願上候二付留 中村健治 五月十六日方十八火迄大雨 夫方八月三日雨大風 凡七拾五目早[]	嘉永6年8月	1冊		
227	[二子村良平より今保村幸兵衛へ売渡した田地手違差違一件書類]	未詳	1冊		
228	明治十三年六月 天保元年ヨリ明治二年マデ之内十五ヶ年貢納及村費取調帳 備中国都宇郡二子村	明治13年6月	1冊		(朱書)「貳百廿八号一」
229	五拾切惣計簿 備中国十四大区都宇郡二子村	未詳	1冊		
230	天保十年己亥四月下旬 菊三郎作治郎兩人方三郎伴市太夫相手取訴訟申出日記	天保10年4月下旬	1冊		
231	嘉永六年癸巳八月 岩部奥池底堀并堤石垣池之奥池底堀流池堤原付御普請願并書類 庄屋中村健治	嘉永6年8月	1袋	絵図ほか	
232	[宮城野信夫の仇討話]	慶安3年	1冊		
233	下撫川 大内田両村之者沢所用場江罷越我察致候一件	丑年7月28日	1冊	沢所組村々惣代鳥羽村庄屋新次郎外9名→倉敷御役所	
234	天保二年卯二月 書上 二子村卯助	天保2年2月	1冊	買物帳カ	
235	[登坂日記]	未詳	1冊		

倉敷市所蔵中村家文書

236	願上書 二子村	天保2年8月	1冊	二子村山より流出する両谷川筋の砌留・関留に関する裁判書類	
237	[御領内村々庄屋年寄心得方]	丑年8月	1冊		
238	御検見心得方	未詳	1冊		
239	文政五年午歳 正月七日朝柳屋妻家出一件始末心覚 ○ ○人金助 花蔵	文政5年	1冊		
240	工夫及近道	未詳	1冊		
241	[芸者と相撲取の争論について]	子年3月	1纏め		丁はずれカ SILティッシュで括る
242	大坂江遣ス書状之写添削入○	子年4月	1冊		
243	安政七年庚申二月 御宮御本社御再建二付書扣 義実	安政7年2月	1冊		
244	手続書	未詳	1冊		
245	澤所組并二妹尾埼外式ヶ村為替書	嘉永元年9月	1冊	当御支配所備中国都宇郡下庄村庄屋惣一外13名→倉敷御役所	
246	[二子村仲屋空三郎大阪にて油売買一件書類]	文政7年	1冊		
247	綿之分	未詳	1冊	人別面積書上	
248	月々御定用之外 当亥年中江戸下金月分ヶ書抜 写	亥年	1冊		
249	御請書	安政6年9月2日	1冊		
250	天保壹拾貳辛丑二月登坂日記 中村磯右衛門	天保12年2月	1冊		破損 SILティッシュで括る
251	天保九年戊戌閏四月廿六日 七月二日迄之分 御銀札一条并御借財向引合日記 大庄屋亀山民兵衛控写 中村磯右衛門持用	天保9年4月26日～7月2日	1冊		
252	天保九年戊戌正月ヨリ三月迄之分 御銀札一条并御借財向引合日記 大庄屋亀山民兵衛控写 中村磯右衛門持用	天保9年正月～3月	1冊		
253	天保九年戊戌四月ヨリ閏四月二日迄之分 御銀札一条并御借財向引合日記 大庄屋亀山民兵衛控写 中村磯右衛門持用	天保9年正月～4月	1冊		
254	天保十一庚子年十月 出府買物帳 中村磯右衛門	天保11年10月	1冊		
255	天保十一子年十月 壹ヶ年御暮方規定帳	天保11年10月	1冊		
256	天保十一子九月吉日 旅籠帳	天保11年9月吉日	1冊		(裏書)「中奥御小性 戸川因幡守内中村磯右衛門」

倉敷市所蔵中村家文書

257	天保十一年庚子八月十日登坂日記 中村磯[]	天保11年8月10日	1冊		
258	天保九歳戊戌十一月 日賀恵 中村磯右衛門	天保9年11月	1冊		
259	天保十己亥十一月 御借財渡シ銀勘定帳	天保10年11月	1冊		
260	天保九歳戊戌二月依り 日記 中村磯右衛門	天保9年2月～	1冊		
261	覚	丑年正月5日	1通	中奥御小性戸川因幡守内中村磯右衛門→宿々問屋逢六衛カ	
262	天保八丁酉正月 御用覚 中村磯右衛門	天保8年正月	1冊		
263	天保九年戊戌二月 御売過米代銀借用証文之控 中村磯右衛門控	天保9年2月	1冊		虫損
264	子二月 平福一条書状写	子年～	1冊		SILティッシュで包む
265	天保九年戊戌閏四月廿三日 御大借二付御仕法伺書扣 中村磯右衛門控	天保9年閏4月23日	1冊		
266	明治九年分 地租村費取立簿 二子村	明治9年分	1冊		(朱書)「十二号ノ内 本村」
267	天保十年己亥正月 定方証文控書写 中村磯右衛門扣	天保10年正月	1冊		
268	天保十四癸卯年 御年貢納覚帳上之分 庄屋健治	天保14年	1冊		
269	嘉永三歳庚戌十二月 御年貢算用帳下之分 庄屋中村健治	嘉永3年12月	1冊		
270	嘉永元年戊申十二月 御年貢算用帳上之分 庄屋市太夫 " 健治	嘉永元年12月	1冊		
271	天保九年戊戌四月 御巡見惣代袖扣 中村磯右衛門	天保9年4月	1冊		
272	おたのしみ帳	未詳	1冊		無記入
273	[袖控]	□亥年正月吉日	1冊	御上御借上・先納出銀覚・亀山取引覚ほか	
274	弘化四年未之八月 宮米覚帳	弘化4年8月	1冊		綴り紐破損 SILティッシュで括る
275	臨時脚夫其他費用記	2014年4月	1冊		綴り紐破損
276	[大福帳]	未詳	1冊	金銭貸借	
277	[手形・願書留帳]	未詳	1冊	宗門手形ほか	
278	天保七丙申年 日賀恵 知事	天保7年	1冊		
279	[諸書類]		1括り		279-1～3紐一括り
279-1	安政四丁巳十一月 御年貢并所々差引勘定 庄屋周平	安政4年11月	1冊		

倉敷市所蔵中村家文書

279-2	安政五戊午十一月 御年貢并所々指引勘定 庄屋周平	安政5年11月	1冊		
279-3	安政六己未十一月 御年貢并所々指引勘定 庄屋修平	安政6年11月	1冊		
280	嘉永六年癸丑九月 御蔵入俵数留帳 二子村	嘉永6年9月	1冊		
281	御扇子料	未詳	1冊		綴り紐破損
282	[預け米書上]	未詳	1纏め		
283	[金銭出入帳]	未詳	1纏め		SILティッシュで包む
284	[倉敷県役所宛信太郎書状]	明治2年12月5日	1通	預家手形返納催促依頼	
285	嘉永七年甲寅十二月 先納借入証文控	嘉永7年12月	1冊	二子村百姓惣代弥七外14名→大庄屋亀山伊右衛門	
286	[諸書類]		1袋		286-1~7一袋 (袋上書)「文治元年甲子八月 早魃二付畑稗田分綿其物中田稗田稲毛御見分書上帳 当年者御見分〇し 御仲〇丁二〇〇廿日」
286-1	文治元年甲子八月 早魃二付夏物綿稗田分痛畝高書上帳 二子村扣	文治元年8月	1冊		
286-2	元治元年甲子極月 早魃二付天水山田江御下ヶ米之内二而此反別割書ス	元治元年12月	1冊		
286-3	文治元年甲子八月 早魃二付天水山田并池懸り痛畝高書上帳 二子村扣	文治元年8月	1冊		
286-4	元治元年甲子極月 早魃二付池掛り御下ヶ米之内二而砂原池掛り一体ノ割	元治元年12月	1冊		
286-5	元治元年甲子九月 早魃二付池掛り并天水山田綿毛痛畝高書上帳 二子村扣	元治元年9月	1冊		
286-6	元治元年甲子八月 早魃二付畑痛畝高書上帳 二子村扣	元治元年8月	1冊		
286-7	安政五年戊午九月 稲毛虫枯痛畝凡積書上帳 二子村扣	安政5年9月	1冊		
287	[諸書類]		1包		287-1~6一包
287-1	寛文五己口年 御下札御通	寛文5年	1包		287-1-1~9一包
287-1-1	巳ノ年請取申米之事	寛文5年	1通		

倉敷市所蔵中村家文書

287-1-2	寛文五年巳九月吉日 二子村御年貢米通請取之事 井上二右衛門 同藤右衛門 難波一之兵衛	寛文5年9月吉日	1冊		
287-1-3	式拾石之利 町七右衛門分	巳年9月25日	1通	服部久左衛門→二子七左衛門	
287-1-4	寛文六年午三月二日 米請取申覚之事 難波一之兵衛 七左衛門殿	寛文6年3月2日	1通		
287-1-5	米請取覚	(寛文5年)	1通		
287-1-6	御請獲之事	寛文5年12月吉日	1通	戸川又左衛門外3名→七左衛門	
287-1-7	覚	寛文5年	1通	米数量書上	
287-1-8	[七左衛門宛橋本や七兵衛書状]	巳年12月	1通	米受取について	
287-1-9	未進覚	2月25日	1通	井次郎衛門外2名→七左衛門	
287-2	元文四己未年 御下札御通	元文4年	1包		287-2-1~6一包 包紙破損 SILティッシュで包む
287-2-1	二子村未年物成之事	元文4年10月	1通	五左衛門→宛名なし	包紙あり
287-2-2	無畝四段分 御検見目録	明和8年10月~	1通	下取百姓庄介外7名→御役所	
287-2-3	御口定之事	寛文11年11月吉日	1通	高書上 戸川又左衛門外3名→七左衛門	
287-2-4	覚	文政10年11月18日	1通	大庄屋平田村難波伝左衛門→二子村磯右衛門・文左衛門	虫損
287-2-5	覚	卯年10月22日	1通	御役所→二子村庄屋彦三郎外2名 米数量書上	
287-2-6	未九月 元文四御年貢納通 難波市右衛門 神嵩民右衛門 北村又市 二子村庄屋七左衛門殿	元文4年9月	1通		包紙あり(包紙上書)「未御年貢通 二子村」
287-3	寛文元丑ノ年 御下札御通	寛文元年	1包		287-3-1~2一包
287-3-1	寛文元ノ年巳八月吉日 御年貢米通請取之事 井上二郎衛門 難波一之兵衛 二子ノ七左衛門殿	寛文元年8月吉日	1通		
287-3-2	御徳定之事	寛文元年11月吉日	1通	戸川又左衛門外2名→七左衛門	
287-4	[諸書類]		1包		287-4-1~6一包
287-4-1	二子村御徳定之事	延宝7年11月23日	1通	櫛原彦右衛門外2名→七左衛門	包紙あり(包紙上書)「延宝七未ノ年御下札」
287-4-2	難波壱郎兵衛殿通 上	延宝7年12月13日	1通		包紙あり

倉敷市所蔵中村家文書

287-4-3	御米請取通日記 中埜四郎右衛門 坪井七左衛門殿	延宝7年8月吉日	1通		包紙あり
287-4-4	覚	未詳	1通	米数量書上カ	包紙あり
287-4-5	延宝七年未ノ十月吉日 二子村御年貢請取通 難波一郎兵衛 井上次郎右衛門 七左衛門殿	延宝7年10月吉日	1通		包紙あり(包紙上書)「御通 二子村之分」
287-4-6	延宝七年未ノ八月吉日 二子方用分米請取痛之事 井上二郎右衛門 七左衛門殿	延宝7年8月吉日	1通		包紙あり(包紙上書)「井上二郎右衛門殿通御通 二子方」
287-5	寛永弍十年未ノ年 御下札御通	寛永20年	1包		287-5-1~8一包
287-5-1	寛永弍拾年九月吉日 納年貢米通請取の事 三沢徳兵衛 井上二郎右衛門 坪井弥左衛門 二子村甚左衛門殿	寛永20年9月吉日	1通		
287-5-2	池樋事	寛永21年3月10日	1通		
287-5-3	御徳定の事	寛永20年9月13日	1通	○山五左衛門外3名→二子甚左衛門	
287-5-4	借用仕米之事	寛永29年2月13日	1通	二子七左衛門→高屋喜左衛門・井上二郎右衛門	下書
287-5-5	借用仕銀子之事	寛永20年12月18日	1通	二子村七左衛門→井上次郎右衛門外1名	扣
287-5-6	二子村	寛永18年旧正月18日	1通	御徳米皆済について	
287-5-7	中晩徳米覚	未詳	1通		
287-5-8	七月吉日 寛永廿年米請取之事 井上二郎右衛門 甚左衛門殿	寛永20年7月吉日	1通		
287-6	〔諸書類〕	正保3年	1包		286-6-1~5一包 (包紙上書)「正保三年[]」
287-6-1	御徳定之事	正保3年11月吉日	1通	三沢徳兵衛外4名→甚左衛門	
287-6-2	正保三年九月吉日 御年貢米通請取之事 井上二郎右衛門 坪井弥左衛門 三沢徳兵衛 二子村ノ甚右衛門	正保3年9月吉日	1通		
287-6-3	正保三年九月吉日 米通請取之事 二子村ノ甚右衛門	正保3年9月吉日	1通		
287-6-4	正保三年九月吉日 未払通 三沢徳兵衛様 二子ノ七左衛門	正保3年9月吉日	1通		
287-6-5	あづけ申米之事	正保4年正月吉日	1通	三沢徳兵衛→二子ノ七左衛門	
288	〔賞詞〕	子年6月	1通	借財掛合方骨折につき小袖下賜 中村磯右衛門	

倉敷市所蔵中村家文書

289	書付 二子村磯右衛門	子年10月	1通	三人扶持について	包紙あり
290	[中村磯右衛門宛大野九兵衛書状]	10月18日	1通	家督相続につき扇子一箱・肴料進上	
291	田地売渡証文之事	明治2年2月	1通	大福村伴治郎外2名→信太郎	
292	二子村戌年御物成米之事	文久2年12月	1通	小田清左衛門・小宮左円→宛名なし	
293	券状金請取書	嘉永2年7月	1通	西山澄之丞外6名→二子村庄屋中村健治	包紙あり
294	田地流証文之事	明治2年12月5日	1通	田地流地平松村梅吉外1名→二子村磯右衛門	
295	田地質入金子借用証文之事	明治2年11月	1通	鶴之助カ外1名→鳥羽村山川九兵衛	
296	[授与品目録]	文久元年	1通	堀尾口口→中村修平	虫損
297	田地質入証文之事	慶応3年12月12日	1通	大森寿太郎外1名→亀山銀次郎	下書
298	天保九歳戊戌九月吉日 事知録 中村磯右衛門	天保9年9月吉日	1冊	借財ほか書上	
299	[諸書類]		1括り		299-1～2紐一括り
299-1	戒講月番金借用証券	明治14年1月	1通	月番金借用主二子村捨吉外1名→講引請人小田惣吉	
299-2	講金請取借用之証	明治17年2月	1通	借用主初次郎カ外4名→中村信太郎・中村祥三・小田佐忠太・外講連中	
300	[賞詞]	午年12月	1通	勤方精勤につき褒美授与	包紙あり(包紙上書)「書付 二子村庄屋磯右衛門」
301	酒津八ヶ郷立会樋前後杭篝石垣繕川底堀并砂留内繰日用銭割賦目録	明治3年11月	1通	倉敷県御支配地浜村庄屋屋葺恒太郎外10名→宛名なし	
302	二子村未物成之事	元禄16年10月	1通	備前→二子村庄屋七左衛門・惣百姓	
303	奉賀中邨美廣老君致仕令郎継箕裘	未詳	1通	日俊明拝 漢詩	
304	二子村丑年御物成米之事	慶応元年12月	1通	石井利喜三外3名→二子村庄屋修平・同村庄屋後見陶浪坂太夫	

倉敷市所蔵中村家文書

305	為替証券	明治6年1月17日	1通	争論和解について 都宇郡二子村訴訟方中村慎太郎外4名 相手方戸長坪井政次郎外8名 附添人副戸長小田良平外1名	包紙あり
306	二子村亥ノ年御物成米之事	文政10年10月	1通	西山藤太夫→二子村庄屋預り文左衛門・同断磯右衛門・惣百姓	
307	二子村子年御物成米之事	元治元年12	1通	石井利喜三外4名→二子村庄屋修平・同村庄屋後見陶浪坂太夫	
308	〔二子村戸長申付〕	明治11年11月28日	1通	岡山県→中村信太郎	
309	家系	未詳	1枚	坪井家	包紙破損 SILティッシュで包む
310	〔諸書類〕		1括り(7通)		310-1～310-7紐一括り, 紐に「参考書 古書」と記した付箋が付されている。
310-1	内済為取替申証文之事	天保2年9月	1通	戸川順之助様御知行所都宇郡二子村庄屋磯右衛門外7名→宛名なし 土砂が流出した谷川より田地損亡につき	
310-2	為取替申済口証文之事	文化13年閏8月～文政14年	1通	栗坂村次郎外21名→宛名なし 松島村の土関に関する争論について	
310-3	天保八丁酉年十二月 新通両替銀札渡通 札場 中村磯右衛門殿	天保8年12月	1通		袋入り
310-4	〔覚・書付の写し〕	未詳	1通	備中御借銀方之事	
310-5	〔中村磯右衛門宛 下津井屋政七郎書状〕	年未詳6月24日	1通	政七郎→中村磯右衛門 大庄屋も夜前岡山に宿泊し今朝はお帰りのはず	封筒入り, 上書「中村磯右衛門様 貴答 下津井屋政七郎」。文書の下部全体が破損して読めない箇所あり。
310-6	〔御借財方の村方委任のこと〕	未詳	1通	午年の江戸表における不慮による借財返済のため厳しい儉約を課したものの借財が次第に増え, やむなく150貫目程の借財を惣村に任せることになった旨を記す。	差出・宛名欠。

倉敷市所蔵中村家文書

310-7	[中村礒右衛門宛 尾張屋文兵衛・正蔵書状]	年未詳6月12日	1通	尾張屋文兵衛・正蔵→中村礒右衛門 暑中見舞いの手紙	全体にわたって下端部破損。包紙あり, 上書「中村礒右衛門様 貴下 尾張屋文兵衛・正蔵」
311	[大野直興宛書状一括]		1纏め (4通)		311-1~311-4巻込み一括。
311-1	[中村礒右衛門宛 大野直興書状]	年未詳12月2日	1通	大野九兵衛(直興)→中村礒右衛門 寒中見舞いの手紙。当年は寒気が強いので御老体を御自愛のこと。	紙継目が分裂しかかっており取扱い注意。
311-2	[中村礒右衛門宛 大野直興書状]	年未詳4月16日	1通	大野九兵衛(直興)→中村礒右衛門 時候の見舞状。	
311-3	[中村礒右衛門宛 大野直興書状]	年未詳10月18日	1通	今般先代が隠居し礒右衛門が跡を継いだことを祝賀したもの。	端裏上書「中村礒右衛門様 貴下 大野九兵衛」。
311-4	[中村礒右衛門宛 大野直興書状]	年未詳12月10日	1通	大野九兵衛→中村礒右衛門 当年不作により乞食に余り物を遣わず余裕もなく行倒れや困窮者があること, 朝夕の粥にしたいので精麦2斗を分けてほしいことを伝える。	
312	[中村礒右衛門宛 岸常右衛門書状]	年未詳7月13日	1通	少々御不快と承ったので, 拙者が富士山に参詣した際に頂戴した「御富世喜」を差し上げる旨伝えましたもの。	封筒入り, 上書「中村礒右衛門殿 乱筆御■■ 岸常右衛門」。「富士山 御富世喜 水初穂ニ而頂戴之事」と記した包紙入りのまじない札のようなものが文書に巻き込まれている。
313	[無相発心和歌]	未詳	1通	無相 ある夜に自らの発心をありのままに飾らず直しもせず詠んだ和歌のうち, ましなもの39首を抜き出し学友に送ったもの。	後欠か。
314	[借銀関係書類等一括]	未詳	1括り (5通・1纏め)		314-1~314-6包紙一括。
314-1	[孫右衛門宛 弥三郎カ書状]	年未詳3月8日	1通	弥三郎カ→孫右衛門 倉敷・岡山・撫川などの米価の相場について連絡したものか。	虫損による劣化著しく, 取扱い注意。

倉敷市所蔵中村家文書

314-2	覚	未詳	1通	人別に利息・年賦の金額を列挙したもの。	
314-3	有御殿拝借銀	未詳	1通	拝借銀146貫800目ほかの利息支払状況などを記したもの	虫損による破損あり。
314-4	[借銀関係書類一括]		1纏め (3通)		314-4-1～314-4-3巻込み一括。
314-4-1	大坂御借財覚	未詳	1通	有御殿拝借銀3口について、利息や返済状況を記したもの。	中に314-4-2～314-4-3を巻込み。
314-4-2	相渡証文之事	未詳	1通	御年貢御通御連名御役人様→二日市村庄屋昇次郎・同村年寄軍兵衛 二日市村が倉敷村板屋忠吉方で借用した銀を借り上げた差出人が、延滞した場合の措置を約束したもの。	314-4-1に巻込み。
314-4-3	大坂御借財覚	未詳	1通	「有」「大川」「尾」「加島」などから借り受けた借銀につき、それぞれ利息や返済状況を記したもの。	314-4-1に巻込み。
314-5	[文書草案]	未詳	1通	銀の借用・勘定に関してやり取りした書状の下書き。訂正の書入れあり。	
314-6	[播州平福正覚寺院家・弟子等に関する覚]	未詳	1通	播州平福在町にある正覚寺の住職が松島村の出身で、その弟子も上庄村の出身であること、平福の神吉(かんき)家に備中吹屋鉄山大塚氏より聲が入っていることなど。	
315	[断簡ほか]	未詳	1纏め		纏めてSILティッシュで包む